

神奈川県医労連ニュース

春のつどい ナースウェーブ

看護の日でもある5月12日、県医労連 春のつどい ナースウェーブをエポックなかはらで開催し、11単組、総勢45名が参加。「看護の過去・現在・未来～私がいまできること～」のテーマで進行しました。



講師は日本医労連 中央執行委員の松田加寿美さん。看護師として働きながら全国青年協の議長としても活躍。ご自身の看護経験も交えてお話していただきました。

いきいきと「看護」ができる職場に。

私たちの未来は私たちの運動でつくる！

講演では若手看護師の過労死、過労自死の事件、マタハラ・パワハラ・セクハラなどの被害実態などに触れ、世界と比べ、日本の看護職場がいかに劣悪かを伝えていただきました。

先輩たちのたたかひの歴史では、看護師が動けば世の中が大きく変わることを学びました。

最後に日本医労連の「めざすべき看護体制の提言」に触れ、自分たちのための労働環境・社会の実現にむけ、仲間とともに行動しましょう！と檄をいただきました。



講師の松田さん

閉会後は署名宣伝行動！

今回はスタンディングにも力を入れ気軽に参加できるようにしました。

手書きのプラカードも目を引き、

1時間で242筆も集まりました！

